

令和5年第11回教育委員会会議定例会 議事録

午後 1時30分開会

1 日 時 令和5年11月16日(木)

午後 2時30分閉会

2 場 所 第1・2委員会室

3 出席者 高田教育長、浅野教育長職務代理者、西川委員、有田委員、平田委員

4 説明員 沖本教育次長兼総務学事課長、富本参事兼人事管理担当課長、  
堀川文化生涯学習課長、山口総務学事課教育総務係長、  
木原総務学事課教育総務係主任

5 会議事件

付議案件

議案第46号 定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について  
(竹原市都市公園設置及び管理条例の一部を改正する条例案)

議案第47号 定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について  
(令和5年度教育委員会関係補正予算案)

報告・協議 (仮称) 賀茂川学園の設立について

○高田教育長 ただいまから、令和5年第11回竹原市教育委員会会議定例会を開会いたします。ここで暫時休憩とします。

(休憩)

○高田教育長 それでは休憩を閉じます。  
お諮りいたします。議案第46号及び議案第47号は成案になる前の内部検討の段階であるため、非公開とすることに御異議ございませんか。

○浅野教育長 はい。  
職務代理者

- 竹下委員           はい。
- 西川委員           はい。
- 有田委員           はい。
- 平田委員           はい。
- 高田教育長        御異議なしと認めます。議案第46号及び議案第47号は成案になる前の内部検討の段階であるため、非公開とすることに決定しました。
- これより非公開とします。

(非公開)

- 高田教育長        以上で非公開の議題は終了しました。これより公開とします。
- 続いて、報告・協議「(仮称)賀茂川学園の設立について」を議題といたします。関係課より議案の説明をお願いします。
- 沖本教育次長     報告・協議「(仮称)賀茂川学園の設立について」でございます。冒頭  
兼 課 長           申し上げましたように昨日、(仮称)賀茂川学園設立準備委員会を開催いたしました。その状況について、簡単に報告をさせていただくとともに、(仮称)賀茂川学園設立について協議をお願いしたいと思います。まず、昨日の会議につきましては、18時半から東野地域交流センターで開催いたしました。まず議事といたしましては、委員長と副委員長の選出を行っております。統廃合される各学校の地域全体を学校区とする賀茂川中学校関係者が一定の中立性が確保でき、また学校や地域の事情をよくわかっておられる賀茂川中学校学校運営協議会の方が望ましいということから、事務局の方から賀茂川中学校学校運営協議会会長であります杉山一義氏を提案させていただきまして、皆さんにご了解いただき、就任をいただいたところでございます。また副委員長につきましても、賀茂川中学校PTA副会長の大月由香氏に就任いただくことになっております。その後設立準備委員会の所掌事項でございますとか組織構成、今後の準備委員会のスケ

ジュールについて説明を行いました。説明を受けて質問がございました。質問といたしましては、スケジュールに示した校舎改修の基本設計とはどんなものなのか、放課後児童クラブの協議はいつになるのかということが出されましたが、基本設計については賀茂川中学校の校舎改修工事の具体的な内容を示したものである、また放課後児童クラブの協議時期については今後示していくとお答えしております。次に（仮称）賀茂川学園開校までのスケジュールについて説明を行いました。このことについて、これから説明させていただきまして、その協議の状況を報告させていただこうと思います。

#### ○山口係長

（仮称）賀茂川学園設立について説明いたします。資料は、本日配付しました10ページと11ページをご覧ください。昨年12月に策定しました竹原市立学校適正配置計画では、児童生徒がこれからの時代を生き抜いていく資質・能力を身に付けるため、できるだけ早く教育環境を整備することを目指し、令和7年度を目途に（仮称）賀茂川学園開校ということにしておりましたが、（仮称）賀茂川学園を整備するための設計期間や工事期間を考えますと令和7年度に開校することは現実的に困難と考え、今年6月に適正配置計画を見直し、令和8年度以降の開校を目指すこととしたところです。その後、具体的なスケジュールにつきまして、内部で検討を重ね、この度、（仮称）賀茂川学園開校までのスケジュール案を資料のとおり作成しましたので説明いたします。昨年3月から6月にかけて、北部の学校運営協議会、保護者、地域への説明会を行い、その中で（仮称）賀茂川学園の場所を現賀茂川中学校とし、必要な増築・改修を行うことを説明いたしました。また、工事手法として生徒の安全を確保するため、例えば賀茂川中学校の生徒に荘野小学校へ移っていただき、賀茂川中学校の校舎を空にした状態で工事を行うことを検討していると説明してきたところです。その後、工事手法を具体的に検討し、その中で仮設校舎の場所として、現在全学年単式学級で空き教室がない荘野小学校よりも、全学年

複式学級となっていて、教室が3クラス空いている東野小学校に賀茂川中学校の機能を移転する方が仮設校舎の整備費用が抑えられ、より効率的な事業執行が図られるということで、市としては（仮称）賀茂川学園整備工事期間中の仮設校舎を東野小学校にしたいと考えているところです。そのことを踏まえまして、スケジュールを説明します。スケジュール表の上から3番目の設立準備委員会につきましては、昨日第1回を行い、開校直前の令和8年度末まで行います。（仮称）賀茂川学園整備工事の基本設計・実施設計は、現在来年度予算要求中で令和6年6月ごろから約1年かけて設計事務所に委託して行います。その後、令和7年度に入り、夏休みまでに東野小学校を改修し、賀茂川中学校受け入れの準備を行います。主な改修内容としましては、中学校の校長室、保健室等が別に必要となることからその部屋を確保する工事となります。その工事が完了し、令和7年の夏休みに賀茂川中学校から東野小学校への引っ越しを行います。東野小学校での仮設校舎期間は、令和7年の夏休みから令和8年度末の約1年半となります。（仮称）賀茂川学園整備工事は、東野小学校への引っ越し後、中学校を空にした状態で約1年間かけて行います。工事期間は実施設計によって、多少前後する可能性がありますので、御了承ください。工事完了後、令和9年3月の春休みに新しくできた（仮称）賀茂川学園に東野小、荘野小、仁賀小、賀茂川中が引っ越しをして、令和9年4月開校という流れになります。続いて、資料11ページをご覧ください。この表は、東野小学校を賀茂川中学校の仮設校舎にすることに伴い、現在の東野小学校と賀茂川中学校の児童生徒の動きがどのようになるのかを示しています。まず、令和5年度の列を見ていただければと思いますが、小学校と書いているのが東野小学校、中学校と書いているのが賀茂川中学校でそれぞれの各学年を表しています。それでは小学校6年生を例にあげて説明いたします。小学校6年生の右の欄は、令和6年度の学年を示し賀茂川中1年生となります。さらに右にいったら、令和7年度になると「中学校2年生（2学期から仮設

校舎)」となっています。先ほど説明したように令和7年夏休みに賀茂川中の生徒は東野小に引っ越しをしますので、令和7年度は、1学期は賀茂川中に通学し、2学期からは仮設校舎となった東野小に通学することになります。さらに、令和8年度は中学校3年生となりますが、引き続き、東野小に通学します。そのため、中学校の卒業式は東野小学校で行うこととなります。このような見方でそれぞれの学年を見ていただければと思います。特に現在の小学校5年生と小学校6年生については、中学校3年間のうち約半分を東野小学校で過ごしていただくこととなります。また、通学や部活等仮設校舎に伴う課題につきましては、方向性が整理できましたらご報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○沖本教育次長  
兼 課 長

こうした説明を行った後、1点質問が出ました。(仮称)賀茂川学園の開校について、令和9年4月からそれ以上後ろにずれることはあるのかという質問が出されましたが、それはないと回答しております。会議につきましては、19時10分頃に全体で40分くらいで終了いたしましたところでございます。1点付け加えますと、先ほど設立準備委員会の所掌事項を説明したと申し上げましたが、この準備委員会の所掌事務といたしましては、教育委員会から提案された内容をしっかり協議していただいて、教育委員会会議に報告するような内容を出していただく。そして、最終的には教育委員会会議の場でいろんなことを決めていくこととなりますという御説明をさせていただいておりますので、委員の皆様もそうしたことで御了解いただければと思います。

○高田教育長

これより質疑に入ります。何か御質問はありませんか。

○西川委員

2点あります。1点目は開校時期が令和7年が令和8年になって、令和8年が令和9年になったということで、この会議の中で後ろにずれるのではなくてせめて令和8年にならないかというご意見がなかったのかということと、タイムテーブルの棒グラフのところ令和6年のところに基本設計・実施設計がありますよね。これは、入札して委託が決まってその業

者が基本設計・実施設計をして、工事着工は令和7年に入ってからということだと思うんですけど、業者が入札で決まってから、設計に約1年間かかるものなのかなと疑問がありまして、当日の会議でもそういう疑問の声は上がらなかったのか2点お願いします。

○沖本教育次長  
兼 課 長

昨日説明をして、質問は先ほど申し上げたように令和9年4月1日より後ろにずれることはないのかというものでした。この適正配置を進めるきっかけというか、根底にあるのは子供の数が少なくなって学校が小規模化している。そして小規模化することによっていろんな教育的課題が出てくるので、それを解決するための手法として適正配置の取組を進めるということです。そのためには少しでも早くということで、適正配置計画策定時に一番物理的に早く進めばということで令和7年4月という計画を示させていただいたんですけど、いろいろ検討する中で先ほどおっしゃられた、設計の工期と工事の工期を考えますと令和5年の6月議会において設計の補正予算を計上しないと令和7年4月開校というスケジュールが絶対物理的に間に合わないということがありました。その段階ではまだまだ工事の改修内容とか庁内でのオーソライズもできておりませんでしたので、一旦はそれが無理だという判断をして、（仮称）賀茂川学園の開校は令和8年度以降にするという形の適正配置計画の見直しをしていただいたわけです。賀茂川中学校を生徒の安全を確保しながら改修をするためには、賀茂川中学校の機能を一時的にどこかに移さなければならない。先ほど山口係長の話にもありましたが、選択肢として、最初は荘野小学校は児童数が多いし賀茂川中学校から一番近いこともあって、荘野小学校をまずは候補とするのはどうだろうという形で考えていて、説明会の中でもそういった選択肢がありますという説明をしてきました。ただ、検討していく中で、荘野小学校に賀茂川中学校の機能を移転させようとすると教室が足りないので一時的な教室の確保とか職員室のスペースの確保が必要になるんですけど、東野小学校については、全ての学年が複式学級で3クラ

ス使っていて、小学校は6学年ですので余裕教室があって活用できるので、賀茂川中学校の機能を置くことはできないか。それと、職員室のスペースも現在東野小の児童数は非常に少なく、教職員数も少ないので、現在の職員室のスペースで小学校と中学校の機能が同居したとしても、職員室も拡張する必要はないという判断がありました。そうすると暫定的なものを整備するのとしなくて、大体、事業費で9,000万円くらい違ってきます。そうした時に、児童生徒数が今底を打っていてこの状況がまだまだ先に長く続いていくんだとしたら、投資する効果は長期間取れますので、いいとは思いますが、子供の数が今後減ってくる見込みがある中で、適正配置計画にも示しているように、さらに竹原市内の学校配置は変化していくことが見込まれるので、やはり今回の賀茂川学園の整備については一定の財政的な制約を確保する必要があるんじゃないかということで、荘野ではなくて東野の方が現実的というか効率的に事業推進を図れるので、その方向で進めたいと説明させていただいたところでございます。この期間については、基本設計・実施設計については、令和6年度に予算計上、先ほど補正予算で債務負担の話をしたんですけど、これは債務負担を使わずにしっかり当初予算に計上して、令和6年度にこの事業していくという打ち出しをする中で、予算が成立したら業者選定も入札手続きもして、この表の令和6年の6月頃から実際選定した業者に設計していただきます。この設計期間については、これまでの吉名、忠海を参考に大体このくらい期間が必要だろうという形になります。校舎改修の工事については、下から4番目になります。これが令和7年10月くらいから始まることになっていますが、これも同じように基本設計、実施設計することによって、大体の工事費の積算ができます。その設計することによって積算した工事費を令和7年度の当初予算に計上して、さっきと同じように入札して業者選定を行います。ただ、校舎の工事については大きな金額が必要となりますので、契約行為に議会の承認が必要となります。それを9月議会で契約の

承認をしていただいて、着工が大体10月くらいで工事期間は大体1年半くらいの見込みです。開校のタイミングは職員の配置のことを考えると、この年度初めの4月しかできませんので、それを考えたら余裕を持って工期をとれるということも含めて令和9年の4月という形にしております。

○西川委員

今回、準備委員会の方々との説明にこの資料が使われたということですよ。地域住民の方に説明される時に危惧するのが、今回の統廃合で賀茂川学園作りますという流れで、教育委員会から将来の資質能力を高めるために複式学級だったり少人数学級ではいろんな支障があるので、統廃合してやっていこうという中で期間が延びると、急いでいるのにこんなに遅くなったら複式学級がずっと続いてうちの子供どうなるんだろう、ちょっと困るという意見が出るんじゃないかなと思うので、その辺をどのように対応されていくのか教えてください。

○沖本教育次長  
兼 課 長

今後、こういった事業の変化や進捗状況を地域に直接説明する機会は設ける予定はしてなくて、準備委員会を行う中で準備委員会に出ている委員さんから地域へ説明してもらおうとか、我々も連絡版のようなものを作って、こういった状況ですという情報発信をしていく予定です。おっしゃるように、教育課題への対応が必要ということで、先ほども申し上げましたように最速で令和7年4月にやりたいという、少しでも早い解決を図っていくという気持ちは変わっていないんですけど、どうしても事業の効率性とかそういったところを考えた場合、確実な事業推進を図れる期間と効率性を踏まえて、令和9年4月と変えさせていただくという形の説明になるかと考えております。

○西川委員

その際にこういう工期とか学校の建設について御理解願うとして、先ほどの東野小の保護者さんからみれば、賀茂川中学校が行きますから小中一貫のような形でいろんな行事とかも充実してくるでしょうし、そんなに不満はないとは思いますが、仁賀はそのままになりますよね。しかも11名で複式もあって、この時系列の中で何人なるかわからないんですけど

ど、そうするとなかなかもう単体ではいろんなことをするのが難しい状況になった時のケアとか配慮を踏まえてアウトラインでいいので、こういう形で配慮しますよというアナウンスがないと仁賀の子にはいろんな問題がでてきますよね。荘野さんはある程度一定に人数がおられるので、さほどその影響はないかと思うので、その辺をちょっとご配慮されたらどうかという提案です。

○沖本教育次長  
兼 課 長

ご提案ありがとうございます。委員さんが言われているのは、事前の交流とかをしっかりとしなさいということだろうと思っております。現在北部の小学校では、課題学習というか共同で行ったり、折々に交流する場面を作っているということもございますし、小学校の児童と賀茂川中学校の生徒がそれぞれ行き来して交流をすることもやっておりますので、今後はそういった取り組みをより充実させていくことが必要ではないかと思っております。

○高田教育長

少し付け加えますと、来年度に入ってこの前、御説明した今年度末の人事が終わって令和6年度がスタートした段階で、北部の3小学校のカリキュラムを一つの学校になるという整理をしていかないといけません。各学校からその人員を出して、そういう特別部会を設けます。それが稼働して令和6年度、7年度にかけて精力的に調整しながら統合した後のカリキュラムができて、令和8年度統合の前の年にはもうほぼそれを使いながら交流ができるように一定の予算措置もしながらやっていこうという腹積もりはあります。そういう議論していますので、先ほど次長が申し上げたように現在の交流しているのをよりカバーしながら、我々としたら一刻も早く適正な集団に近いところにもっていきたいわけですが、物理的なことも含めて困難であれば、今のような手法でカバーしていく。そして、前年度には統合前の加配を広島県教育委員会の方からいただけたと思いますので、そういう人的な環境を活用してそこを最大限カバーしていきたいと思っております。

○有田委員

東野小学校に仮設ということで、そもそも論なんですけど、東野小学校地区周辺が過去の豪雨災害で、大変な状況になったと思うんです。今後もそれが起こらないとも限らないという中で、学校を仮にそちらに通わすという方向を取られるので、それに対しての保護者さんからの質問とか危機管理がどうなのかっていう話がなかったのか教えてほしいです。

○沖本教育次長  
兼 課 長

特に質問は出なかったんですけど、確かにそういった懸念があるというのは承知しているところでございます。今、平成30年の豪雨災害の被害状況を踏まえて、災害に強いまちづくりということで、防災機能を高める工事を行う予定としております。東野小学校周辺が平成30年に浸水したということで、その浸水対策を検討なりをこれから講じようとしています。賀茂川中学校の機能を一時的に東野小学校に移すこの1年半、令和7年から8年度末までに東野小学校周辺の浸水対策が終わっているか分からないんですけど、一時的に賀茂川中学校の機能をどこかに移さないといけないので、説明の仕方によっては子供たちの安全と予算のどちらをとるのかと言われかねないと思います。今は事業の効率性というところを考えた時に、東野小学校に一時的に機能を移さなかったら、他にどうする手立てがあるかという、もう荘野小学校か賀茂川中学校に生徒がおりながら工事をするというのもあるんですけど、荘野小学校に置こうとしたときには、一時的な予算が非常に多くかかるのと、賀茂川中学校に生徒がおりながら工事をするのはやはり工期が長くなって、工期が長くなると令和9年4月にはまらなくなる可能性があります。実際、保護者に説明するには、もっとしっかり考えないといけないんですけど、1年半の仮移転の期間の浸水のリスクより事業の効率性とか事業費を少し優先的に考えている状況です。

○高田教育長

いずれにしても、一時的に1年半くらい、その後も校区が広がって、本市で言えば1番大きな賀茂川の河川沿いに広がるというようなことから、特に東野へ中学校を持ってくる期間においては、天候による臨時休業につ

いての危機管理上のハードルを他校よりも下げてでも、空振りを恐れない気持ちをもっと前に出しながら、子供たちの安全確保についてやらなくてはいけないと思います。それは当該の校長さんとか教育委員会との連携の中で、例えば学校は朝6時に警報が出ていたらというのも、天気図を見ながらこの学校については、よそは来るけども臨時休業にするとか積極的に打っていかないといけないなと思っています。先ほど次長が説明したことと含めて、特に危機管理のところですか。もっと発展すれば、これから御質問が出るかも知れませんが、中学生たちが部活動で移動することも出てきます。今のところ、テニスコートは賀茂川中学校に残るので、テニス部の生徒は東野小で授業が終わったら、そこへ移動するということも起きてきます。そういう中で、移動という今までにないことになれば、その危機管理上の対応もありますので、そういうことも含めながら子供の安全管理については、今以上に我々の意識を高めた対応をしていく必要があると思います。

○竹下委員

この先多分児童数・生徒数はどんどん減っていくので、将来的に竹原学園というか竹原に集まるような構想もあったと思います。賀茂川学園が令和9年度から開校して、竹原学園になるのも先延ばしになるのかもしれないけども、あまり賀茂川学園の開校が遅くなると、その先の将来的に竹原学園になるまでの期間が短いから、今更なんですけども、その短い期間なのに結構なお金がかかるのがどうなのかなという気もします。竹原に統一するというのは、また先送りになるということなんですか。

○沖本教育次長  
兼 課 長

適正配置計画については令和9年度までが計画期間で、(仮称)賀茂川学園開校と大乘小学校の統合について計画していると明確にして進めていくことを教育委員会の意思として示させていただいたものです。そこから先につきましては、今回この適正配置計画を作る場合は市立学校適正配置懇話会を設置していろんな立場の方から出ていただいて客観的な視点からいろんな議論をして答申をいただいておりますので、今後の学校配置

の変化については、その時その時の状況を踏まえて、また懇話会を設置して、検討してもらって答申をいただいてそれに基づいてどういった手立てを打っていくか考えていくことになろうかと思えます。後ろずれになるというのも、竹原学園を何年にするかということは今回の適正配置計画には入れておりません。あそこはあくまで、想定しないといけない姿という形で入れてますので、御理解いただければと思います。

○平田委員 賀茂川学園スケジュール案の上から2番目の検討業務委託に5カ月間取られていますが、具体的にどういったものか教えていただきたいのと、もう1点、これは意見なんですけど沖本次長が先ほど、昨日の会議で1点質問が出て、令和9年度より遅れることはないと答えたと言われましたけど、例えば建築費の高騰とかニュースになっているので、遅れるかもしれないですよ。忠海学園の時も、ないと言いながら遅れたこととかあって、そういうところがすごく不信につながったので、言い切らずに慎重に答えるべきだと感じました。

○沖本教育次長 兼 課 長 スケジュール表の上から2段目にある検討業務委託について、具体的には、いきなり設計業務に入るのではなくて基本構想を作って、建築設計事務所にある程度こういった改修をした場合に、大体どのくらいの経費になるか積算をしてもらったものです。基本設計とか実施設計になると、より具体的になりますので、非常に大きな委託契約費がいるんですけど、前の段階として、多額の予算を必要としないで、大体の経費を出してもらうために、基本構想を踏まえた事業費の算出という業務を行ってもらっています。それと、遅れる予定はありませんと答えたのは、おっしゃられた事故的な要素、建築資材が入らないとか天候不良が続いて工事ができないとかそういう事故的なことがあれば遅れる可能性はあるんですけど、それを前提にせず教育委員会の姿勢として、令和9年4月より延ばすつもりはありませんという意味合いで答えたものです。

○平田委員 その検討業務委託で、先ほどの費用対効果、9千万円かかるとかそうい

ったものがわかったということなんですかね。今年の6月から10月までかかったということでしょうか。

○沖本教育次長           その通りでございます。

兼 課 長

○高田教育長           準備委員会の次回の予定はいつですか。

○山口係長            今回は令和6年1月に基本設計について、基本構想で作った図面を提示しながら、大体こういった工事になりますという説明をすることになっています。

○高田教育長           本定例会に付議された議案の審議は全部終了いたしました。以上をもちまして令和5年第11回竹原市教育委員会会議定例会を閉会いたします。

令和5年11月16日      午後2時30分閉会